



# 桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和5（2023）年5月19日 第2号

文責：校長 佐藤 正貴

学校教育目標

磨き・高め・創造し合える児童の育成

～楽しさ溢れる、夢広がる学校～

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めてきた約3年間、学校の教育活動は大きく変化してきました。タブレットを活用したオンライン授業では、家庭に居ても授業を受ける事ができるという便利な時代になってきました。Society 5.0が目指す仮想空間と現実空間を高度に融合させた社会のシステムが、学校の中にも徐々に入ってきています。一方で、この3年間で全国的に不登校傾向児童・生徒の増加、対人関係を築く力の低下など、課題が出てきています。コロナ禍以前からそのような傾向はありましたが、拍車がかかった状況のような気がしています。そんな中で、私自身、学校の価値、存在意義について改めて考え直してみました。これまでの教職経験、諸先輩方の話、先人が残してきた教育の足跡などを見直していく中で、「学校とは何を学ぶ場所なのか」ということを以下の3点に整理することができました。

○規範意識や規律の醸成、自分を律する心、他者を思いやる心を育むことなど、自己の内面を磨く場所が学校である。

○内面を磨き、輝かせるために、他者との関わり合いの中で出来ている事は認め合い、苦手な部分は補い合う関係を培うところが学校である。

○ゼロから新たなものを創り出すような挑戦する力、既存のものを活用してよりよいものを創り出すことができる力を育むところが学校である。

子どもたちが、自分自身が幸せに生きていくために本当の意味で勉強するのは、社会に出てからだと思います。学校は、その準備をする場所だと考えています。しかし、その準備は、決して学校だけで出来るものではありません。自己の内面を磨き、周りとの良好な関係を築き、物事に挑戦していく力を身につける基盤は、やはり家庭にあります。規則正しい生活習慣の育成（早寝、早起き、朝ご飯を必ず食べる、あいさつ、返事 等）は、学校生活を送る上で必要不可欠なことです。この基盤があつての学校教育ですので、家庭、地域と連携しながら子どもたちの心身の育成に努めていきたいと思ひます。ご協力の程、よろしくお祈ひします。

## 全校集会

今年度の取組の中で、昨年度と変えたものの中に児童集会があります。昨年度は、朝活動の時間に全校朝会（職員の話や指導等）と児童集会（各委員会の活動報告等）を行ってました。今年度は、月に1回、水曜日の5校時を活用して、この両方を合わせた児童集会を児童の企画委員会主導で計画・運営を行っています。その第1回目が5月17日に行われました。音楽委員会からは今月の歌、保健委員会からは、歯磨きの大切さを伝える劇などが行われました。また、企画委員会からは、運動会スローガンの発表がありました。子どもたちは、真剣に聞いたり、笑い声が上がったりと、結構盛り上がっていました。最後に私の話ということでした。話す前に子どもたちに、「まず、話を聞きたいですか」と尋ねると、ほとんどの子どもが「聞きたくない」という反応でした。そんな事にはめげずに、「運動会でめめた話」と題して話をしました。内容は、お子さんに尋ねてみてください。子どもが創り上げる集会は、楽しいですね！



「まず、話を聞きたいですか」と尋ねると、ほとんどの子どもが「聞きたくない」という反応でした。そんな事にはめげずに、「運動会でめめた話」と題して話をしました。内容は、お子さんに尋ねてみてください。

